

第3回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会が

～ 糖尿病の連携医療 ～をテーマに開催されました

地域医療連携部

平成26年2月8日（土）、ベルジュネ迎賓館（小山）において、自治医科大学附属病院主催、栃木県医師会・栃木県歯科医師会後援並びに日本療養指導士単位取得認定、糖尿病協会認定の「第3回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催されました。当日は悪天候にも関わらず、県内外の地域医療に関わる医師・歯科医師・看護師・その他医療技術職員や連携業務に携わる方々に院内参加者を含め、104名の参加がありました。

長谷川剛地域医療連携部長の開催挨拶、石橋俊教授より当院の「糖尿病センターの取り組みについて」の概要説明に引き続き、石橋教授の司会で第1部講演会を開始しました。

初めに糖尿病センター眼科佐藤幸裕教授より「増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術」と題して、増殖糖尿病網膜症の治療・手術、管理で定期的な眼底検査が行えるような内科医と眼科医の連携の必要性など講演されました。次に腎臓内科長田太助教授より「糖尿病腎症予防と透析準備」と題して、糖尿病腎症の治療・管理やチーム医療による早期患者教育で透析導入の延長が図れることなど講演されました。続いて歯科口腔外科草間幹夫教授より「糖尿病患者の口腔疾患」と題して、糖尿病患者の口腔疾患、抜歯時の注意点や歯周病と糖尿病の関連など講演されました。続いて消化器外科細谷好則准教授から「肥満外科治療の適応と治療実績」と題して、手術の適応や術式の種類、糖尿病の改善効果、外科治療のチーム医療での重要性について講演されました。

第2部は、大橋博先生（小山イーストクリニック理事長・院長）と長坂昌一郎准教授を司会に「糖尿病における地域医療連携を考える」と題し、各パネリストによる発表やパネルディスカッションを行いました。初めに高田良久先生（高田クリニック院長）より「栃木県の糖尿病地域連携パスの現状と今後の方向性」と題して、連携パスの使用状況と今後の連携（歯科・眼科・産科等）が発表されました。次に大須賀淳一准教授から「当科の糖尿病学習入院について」と題して、適応とスケジュール、病診連携について発表されました。続いて岡田健太講師より「当科の外来診療の現状について」と題して、外来や糖尿病管理の状況を発表されました。続いて佐藤敏子栄養管理室長より「糖尿病食事療法のための食品交換表の改訂と食事療法のポイント」と題して、その改訂点のポイントを中心に発表されました。続いて馬場千恵子師長より「糖尿病看護外来の実際」と題して、看護体制、フットケア・妊娠糖尿病の支援などが発表されました。

引き続き、地域の診療所（医科、歯科）の先生からのご意見や質問を中心にディスカッションを行い、患者の指導方法や抜歯時の対応、教育入院のあり方、血糖コントロールが難しい患者の紹介などについて要望が出されるなど活発な意見交換が行われ、地域連携における当院への期待の大きさを再確認する場になりました。

最後に安田是和病院長から、病診連携及び病病連携を今後さらに密にし、地域全体で患者を支える医療に協働して取り組むための協力要請があり終了しました。（大雪の中、ご出席いただきました方々には、改めて御礼申し上げます。）

今後も時宜を得たテーマによる研究会を開催し、地域の医療関係機関との絆を強化し、大学病院の円滑な運営が図られるよう企画してまいりますので、院内の皆様のご協力をお願いいたします。

また、研究会終了後開催された懇親会では、各医療機能を有する機関で活躍されている方々のお話も交えてface to faceでコミュニケーションが取れ、地域連携の輪が広がりました。



講演会



パネルディスカッション